

桜井高等学校（インターンシップ）

●実施状況(概要)

- ・経営体育成基盤整備事業(ほ場整備)を計画している窪田地区において、環境との調和に配慮した事業を進めていくために、水田周辺に生息する生物の実態を把握することを目的に調査を実施しました。
- ・調査には桜井高等学校の2年生が参加しました。
- ・農業排水路である堀川の流速、水温、水深、植生等の調査と水路周辺に生息する魚、昆虫を捕獲して、数の確認、大きさの測定、写真撮影等を行いました。

場 所 : 朝日町窪田地内(堀川)

実 施 日 : 平成24年8月20日(月曜日)

参 加 者 : 桜井高等学校(インターンシップ) 3人
地元住民 他 7人

計 10人

活動内容: カゴ網の設置、生き物の採捕、観察、
記録、放流

捕獲生物: ドジョウ、カワニナ、アブラハヤ、タカハヤ



●参加児童の感想(抜粋)

2年生 男子生徒

人生であまり体験できないことを手伝わさせていただき、とても良い経験になりました。

田んぼの区画工事をするためには、まず川の生き物を調べたり、いろいろな調査が必要であることに驚かされました。

2年生 男子生徒

「土木」というのは、人々の暮らしを便利にするための社会基盤となるものだけど、今回の仕事のような「農業土木」は、その土木の仕事の土台ともなるような仕事だなと思いました。

2年生 男子生徒

今回、僕は、初めて川の中に入って、生き物を捕まえることをしました。初めての体験で小学生に戻ったように捕まえることに没頭してしまいました。

楽しかったです。